

♠ 本日の卓話

増田 徹



本日は卓話の機会を頂戴し、誠にありがとうございます。当クラブではこれまで、消防署の職員や消防長をお招きし、現場の活動についてご紹介いただく機会が多くございました。今回はプログラム委員会より「消防団」についての話題をご希望いただきましたので、私の経験を交えながらご紹介させていただきます。

地方と都市部の違い

首都圏型の消防団は比較的落ち着いた雰囲気ですが、地方では今でも昔ながらの慣習が残っていることがあります。かつては火災の現場で消火活動を終えた後、感謝の印として酒をいただき、そのまま飲みに行くということも珍しくありませんでした。現在では規制が厳しくなり、そうした慣習は減少しています。

消防団の歴史と制度

消防団の起源は江戸時代の町火消しにさかのぼります。火災の多かった江戸の町を守るため、町民による自主的な防火組織が生まれました。明治・大正・昭和と時代を経て、昭和 22 年に現在の「消防団」として制度化され、今年で約 80 年を迎えます。消防団は火災だけでなく、台風や地震などの自然災害時にも活動します。地域の避難所の開設や巡回、被害状況の報告など、幅広い役割を担っています。

私の消防団歴

私は昭和 61 年、29 歳の時に地元の消防団に入団しました。当時は自営業者の子息が声をかけられることが多く、私も父の勧めで入団しました。最初の 10 年間は団員として活動し、その後、班長、部長、副分団長、分団長と役職を歴任し、45 歳から 17 年間分団長を務めました。その後、師団長として 4 年間、現在は団本部の副団長として活動しております。川口市消防団の定年は 70 歳で、私は現在 69 歳。来年 3 月末をもって定年退団となる予定です。

表彰歴と制度

消防団では年数や功績に応じて表彰が行われます。私は入団 3 年目に川口支部の三等功労章を受章し、その後も埼玉県、日本消防協会、そして消防庁長官からの表彰をいただいています。これらの表彰は制服にバッジとして着用することができ、団員としての誇りでもあります。また、消防団員は特別職の地方公務員として位置づけられ、年額の報酬や火災・訓練への出動手当が支給されます。定年退団時には勤続年数に応じた退職報奨金も支給される制度となっております。

組織構成と現状

川口市消防団は現在、11 師団・29 分団で構成されており、定員 515 名に対して在籍団員は 414 名。うち女性団員は 32 名で、近年は学生消防団員の加入も進んでいます。地域の安全を守るため、若い世代の参加が期待されています。消防署は北・南・東の 3 署があり、それぞれに分署が設置されています。火災時には地域を越えて連携し、迅速な対応が求められます。

火災現場での活動

消防団は 365 日 24 時間、出動命令があれば即座に対応します。火災現場では防火水槽からの吸水、ホースの設置、筒先の操作などを行い、職員と連携して消火活動にあたります。時には危険を伴う場面もあり、団員の覚悟と連携が求められます。私自身も火災現場で筒先を持ち、消火活動にあたった経験があります。夏場の火災は特に過酷で、防火服を着用しての作業は体力を要します。現場では団員同士の信頼と協力が不可欠です。

終わりに

消防団は地域の安全を守るために、日々訓練と活動を重ねています。団員一人ひとりが誇りを持ち、使命感を持って取り組んでおります。私もまもなく定年を迎えますが、これまでの経験を通じて、消防団の意義と魅力を改めて実感しております。

本日は長時間にわたり、私の経験と消防団の実情についてお話をさせていただきました。少しでも皆さまの理解の一助となれば幸いです。ご清聴、誠にありがとうございました。



♠ 出席・ニコニコ報告

藤原 忠由委員長

- | | |
|-------|---|
| 稲川 和成 | 増田パスと会長本日はよろしくお願い申し上げます。 |
| 熊木 義尚 | よろしくお願いいたします。 |
| 上地龍之介 | 増田さん本日はよろしくお願い致します。 |
| 切通 勇次 | お世話になります。 |
| 車谷 隆徳 | 26 度うれしいなー |
| 小林 忠 | 増田さん卓話楽しみにしておりました。 |
| 島崎 清美 | 稲川会長新規お客様との御来店有難う御座いました。 |
| 島崎 清美 | 先日は歓迎会および御来店頂きまして有難う御座いました。 |
| 須田 清 | 祝 日大三高(準)優勝よく頑張りました。 |
| 田中 一任 | 本日も宜しくお願いします。 |
| 値賀 純子 | 先日は心温まる歓迎会を賜り二次会で花束までお越しいただきありがとうございます。皆様のご厚情にささえられている事を改めて感じます。いただいた活力を日々の仕事と地域のつながりに返してまいります。 |
| 藤原 忠由 | 増田先輩宜しくお願い致します。 |
| 増田 徹 | 本日はお気楽に聞いてください。 |
| 森川 昌紀 | 増田先生本日は宜しくお願いします。 |

14口 14,000円 累計 88,000円